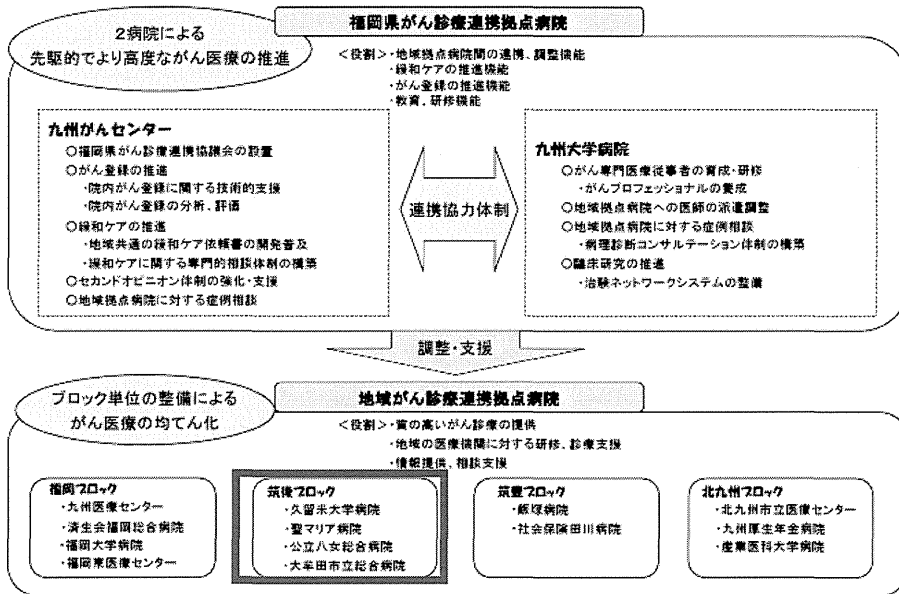


福岡県がん診療連携拠点病院体制(平成24年2月現在)
 全国388ヶ所(県拠点51+地域拠点337)
 福岡県内18ヶ所(県拠点2+地域拠点13+県指定3)

福岡県がん診療連携拠点病院体制



筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会

大牟田市立病院 (4人) ※()内はスタッフ数
 大牟田市 350床(一般) 29診療科

久留米大学病院 (3人)
 久留米市 1098床(一般1045/精神53) 26診療科

公立八女総合病院 (3人)
 八女市 330床(一般) 19診療科

聖マリア病院 (3人)
 久留米市 1354床(一般1188/精神60/療養100) 27診療科



- ✓ 代表 峯 孝志(久留米大学病院 准教授 腫瘍内科)
- ✓ 2008年1月より毎月1回の連絡会議
- ✓ 情報共有→地域医療機関のがん調査→がんサロン運営
- ✓ 会則作成(第1~8条) 2010年5月26日

「がん対策推進基本計画」に掲げられている 「がん専門相談員」の役割

- ✓ 相談支援に関し十分な経験を有する看護師等の医療従事者や患者団体等との連携について検討する
- ✓ がん患者本人はもとより家族に対する心のケア(精神的支援)が行われる相談支援体制を構築してゆく
- ✓ がん患者や家族等が、心の悩みや体験等を語り合うことにより、不安が解消された、安心感につながったという例もあることから、こうした場を自主的に提供している活動を促進してゆくための検討を行う

「がん専門相談員のための学習の手引き～実践に役立つエッセンス～」(P15)

2008年9月 国立がんセンターがん情報センター

「がんサロンちっこ」の紹介①

※「ちっこ」とは福岡県筑後地域を表す方言

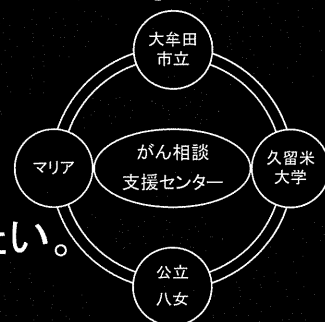
目的: がん患者やその家族等に相談交流できる場を設け、参加者同士で情報交換を行い、悩みや不安を取り除くことで生活の質向上に寄与することを目的とする

特徴: 筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会が共同し、病院外の街中にがんサロンを新規に立ち上げた事



各がん拠点病院の所在地で、がんサロンを運営したい。

- ニーズは本当にあるの？
- 運営のノウハウがない
- みんなで久留米市で立ち上げてみよう



「がんサロンちっこ」の紹介②

※「がん患者サロンの取り決め」より

目的:がん患者・家族の交流 情報交換の場の提供 生活の質向上

対象者:がん患者およびその家族

非会員制 事前申し込不要 参加費無料

年齢・地域・疾患・受診医療機関の制限なし。名前は匿名でも可

開催日:毎月第2土曜日 14時～16時 平成22年10月開始

場 所:久留米市中心街のショッピングモール(くるめりあ六ツ門6階)

運営主体:筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会

→2011年4月より患者会が発足し運営に参画

「虹の会」・・・午後2時開始 虹の架け橋になりたい

「がんサロンちっこ」の紹介③

主な内容:ミニ講演(30分)＋患者・家族交流会(90分)

参加ルール:やってはいけないことを規定(一部)

✓他人のプライバシーを侵す行為

✓宗教・思想などの押しつけ・営利目的活動

✓サロン内で得た情報を勝手に口外すること(個人情報保護)

活動評価:参加者アンケートの実施(開催毎)

運営費:4万円(1万円×4病院 平成23年度)＋個人寄付金

※会社(団体)からの寄付依頼はあるも現在は見送り

広 報:行政機関・マスコミの利用 各病院の広報活動

後 援:久留米市、高等教育コンソーシアム久留米、大牟田市、
八女市、広川市(がん拠点病院のある全地域からの後援あり)

「がんサロンちっこ」の紹介④



「がんサロンちっこ」の紹介⑤

ミニ講演の演題(一部)

がん患者の味方！ がん相談支援センター！！	「抗がん剤治療中のスキンケア」 認定看護師
「緩和ケアってなあに？」 医師(麻酔科)	「放射線治療ってなあに？」 医師(放射線)
「がんってなん？うつとね？」 医師(外科)	「おいしく食べる工夫」 栄養(NST)専門療法士
「がん治療と経済的負担の軽減」 がん専門相談員(MSW)	「がん告知後の心の持ち方」 診療心理士
「患者の立場から」 患者会代表	「在宅療養と訪問看護」 訪問看護師
「がん告知後10年を振り返って」 患者体験談	「家族の体験談」 患者家族

「がんサロンちっこ」の紹介⑥

がんサロン開設のポイント

- ✓ 活動理念が明確である
連絡協議会の会則作成(第8条)
がん患者サロンの取り決め(15項目)
「虹の会(患者会)」の発足(会則8条)
- ✓ 十分な準備期間(約1年半の準備期間・会議は月1回)
- ✓ 集まり易い会場(アクセスと利用金額)
- ✓ 広報活動(行政への後援依頼、マスコミ活用)
- ✓ アンケート作成(活動評価)
- ✓ スタッフは勤務扱い(継続性)
- ✓ スタッフの仲が良い!?(リーダーの存在)



アンケート結果①

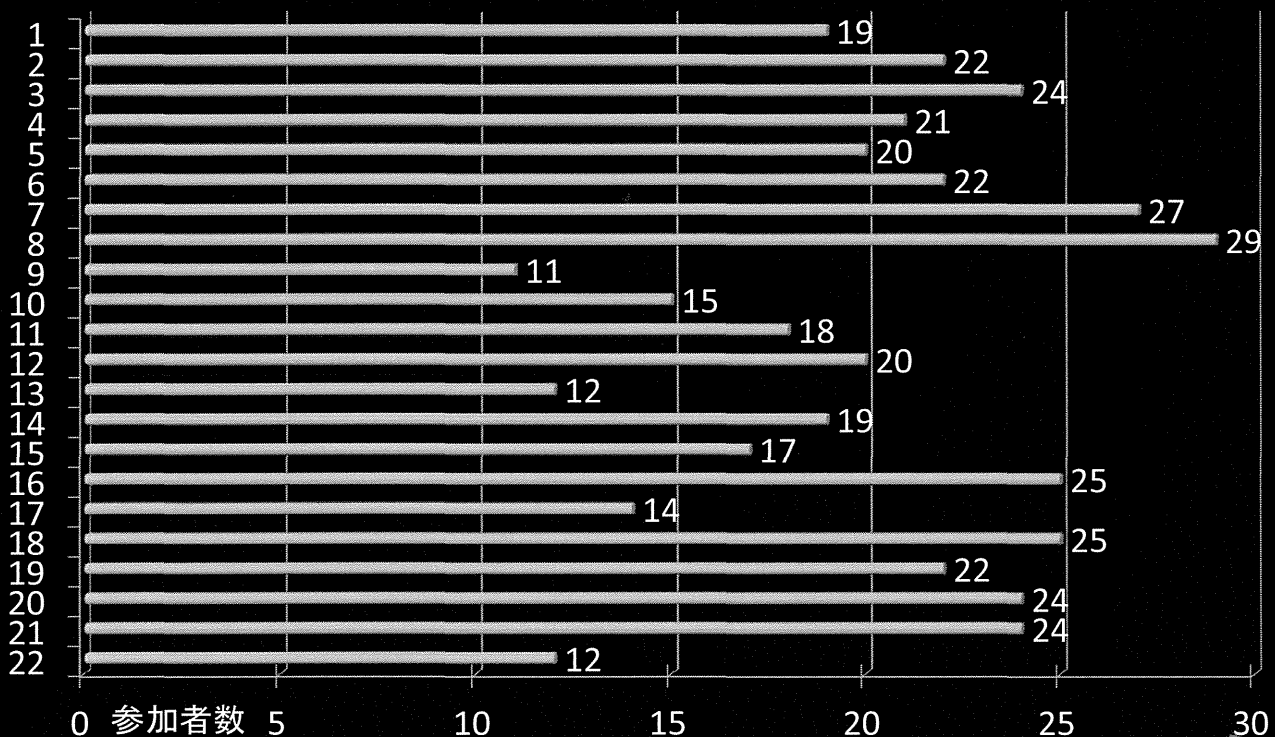
回答率88%

参加者数(22回開催)

合計442人 平均20人/回

開催数

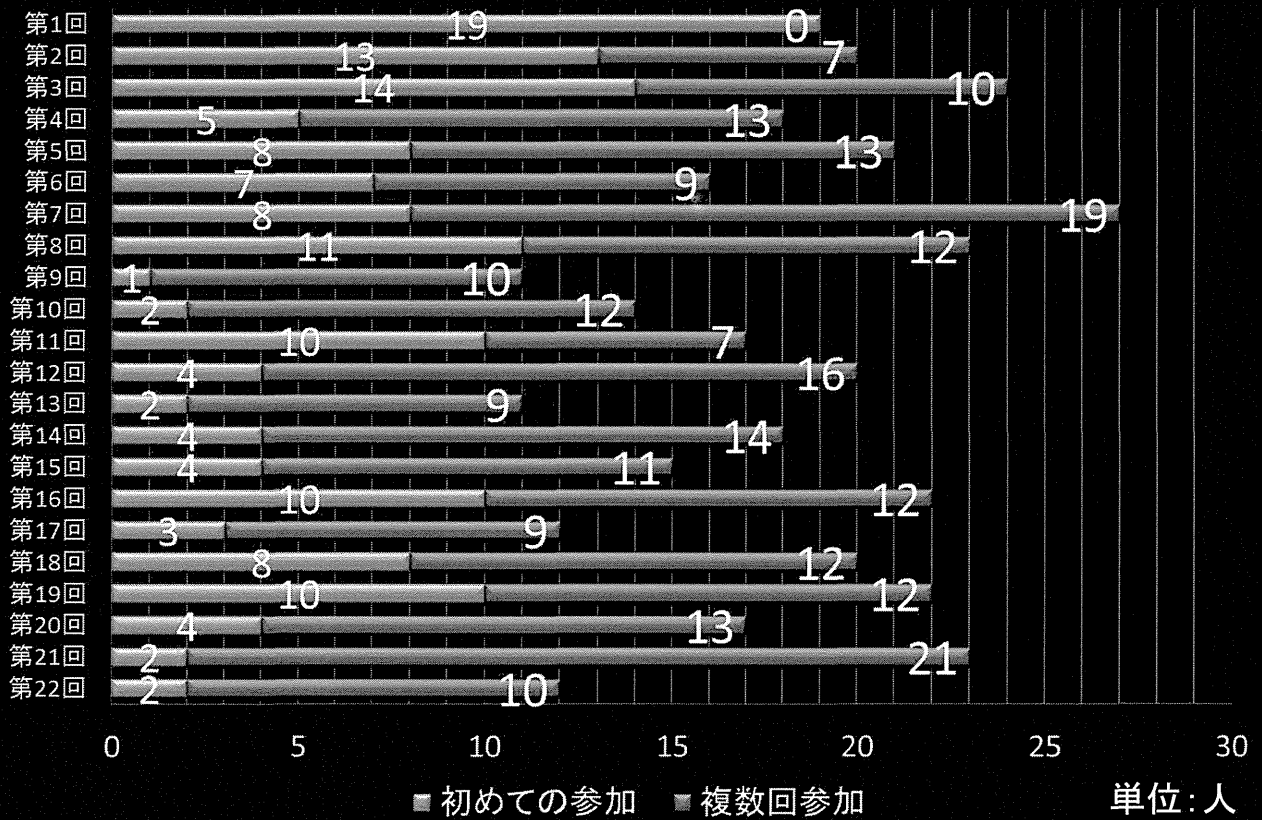
単位:人



アンケート結果②

回答率88%

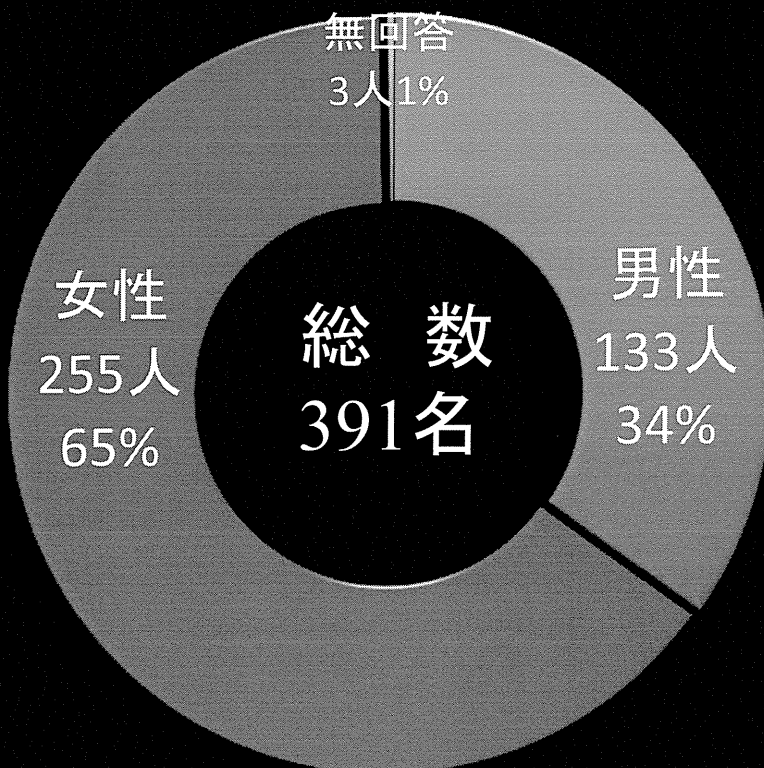
初回参加者数(6.9人/回) + 複数回参加者数



アンケート結果③

回答率88%

性別



立場

無記名

7人2%

家族

83人

21%

総数

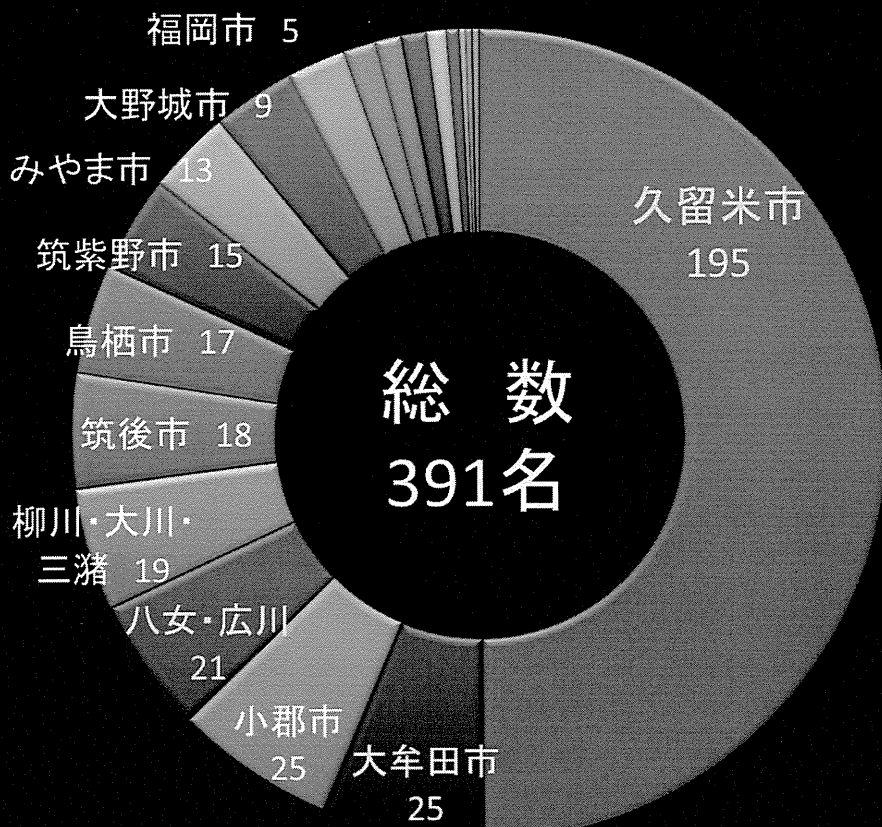
391名

患者

301人

77%

住まい



- 佐賀 30
- 熊本 4
- 大分 2
- 鹿児島 1
- 長崎 1
- 岡山 4

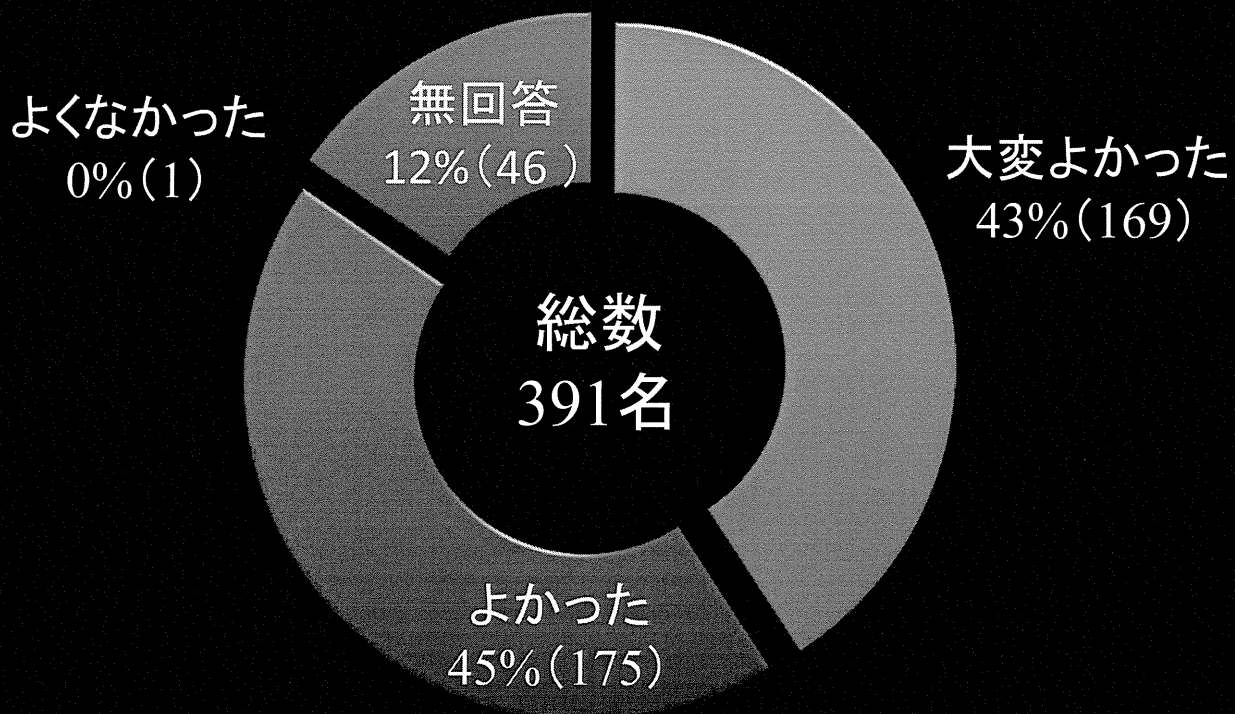
※県外 42人

アンケート結果⑥

回答率88%

評価

単位:人

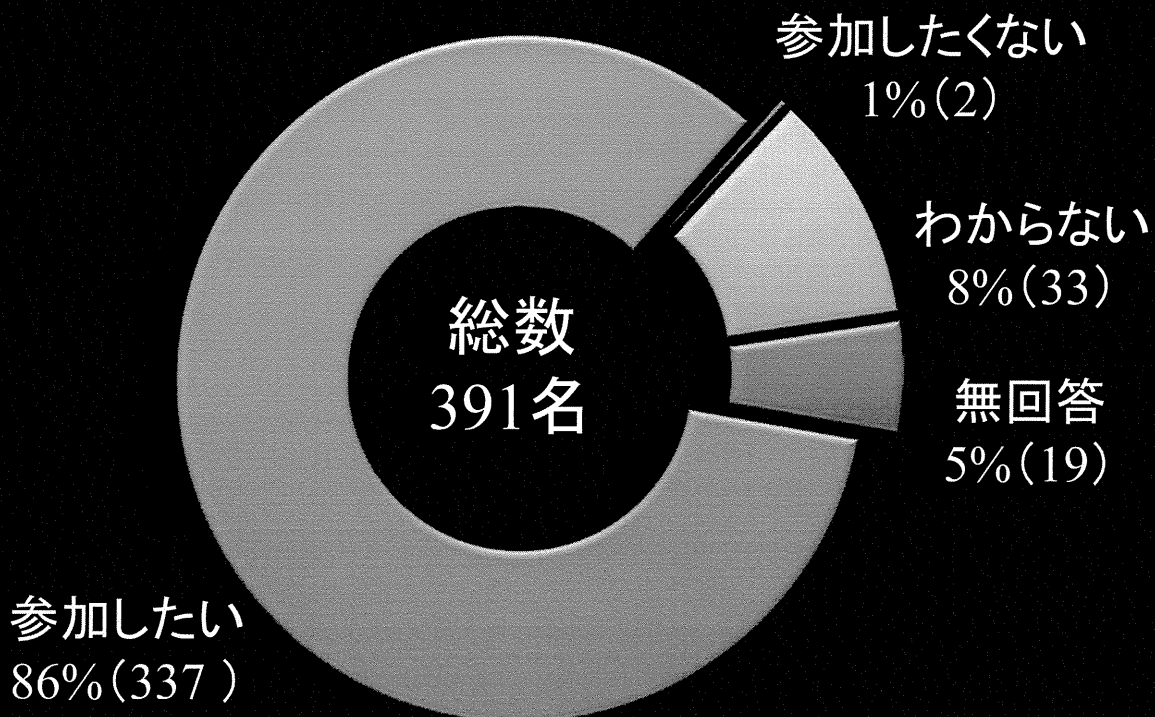


アンケート結果⑦

回答率88%

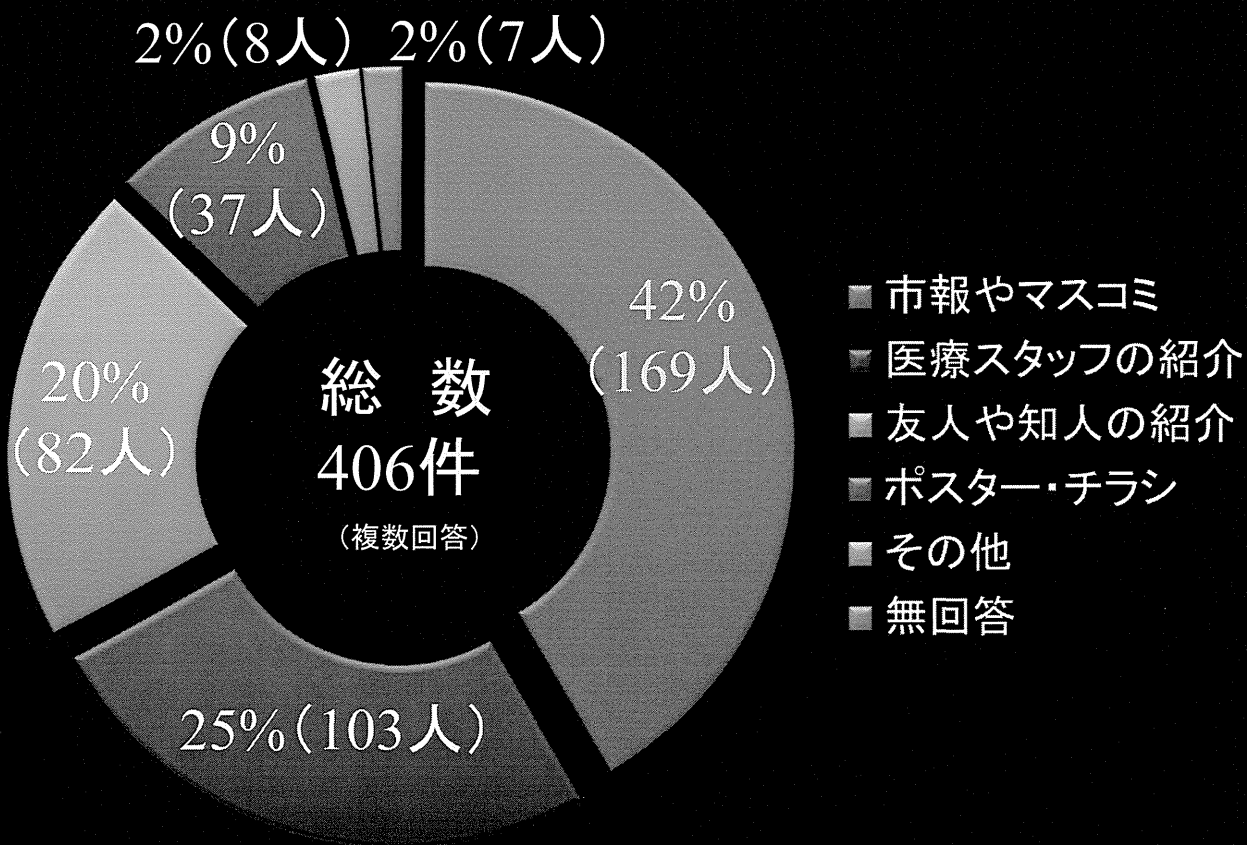
今後の参加希望

単位:人



アンケート結果⑧

回答率88% がんサロンちっこをどこで知りましたか？



アンケート結果⑨

フリーコメント:よい評価の意見(一部)

- ✓ 自分一人じゃないとわかり参加して良かった
- ✓ 少しだけストレスが解消できた。順次参加して話を聞きたい
- ✓ 病気になった者でないとわからない気持ちが話せてよかった
- ✓ 話したり聞いたりすることにより精神的に気持ちが軽くなり助かります
- ✓ 周りに言えないことでもここでは本音で話せるので良かった
- ✓ はじめて参加された方が笑顔になられて良かった
- ✓ 皆様の意見を聞きなんとなくホッとしました
- ✓ 何かお手伝いできる事がありましたらお声をかけて下さい
- ✓ 毎回来れる事を楽しみにがんばって日々過ごします
- ✓ 答えがなくても聞いてもらったり吐き出す場所って必要だなと思いました
- ✓ 今日帰ったらと夫に少し優しく出来そうなきがします(家族)
- ✓ 患者家族の体験談は非常に良かった
- ✓ 気持ちが楽しくなる話しが聞けて良かった

アンケート結果⑩

フリーコメント：課題や要望など(一部)

- ✓ ウィッグをつけているので写真を撮られるのが嫌でした
- ✓ 経済的負担を軽減する社会資源を知りたい
- ✓ できれば、患者同士とか家族同士とか分かれて話したい
- ✓ ミニ講演の資料は有料でも配布してほしい
- ✓ がん種別で交流をしたい
- ✓ 医師に話を聞きたいと思ったけれど話せなかった
- ✓ 「笑い」のあるミニ講演をおねがいします
- ✓ ミニ講演の時間が少ない
- ✓ がん患者の就労支援について話を聴きたい
- ✓ 男性の場合は仲間が少なく、会話の場も少なく困る
- ✓ 各個人の発言を保障してほしい
- ✓ 20～40代の若い人のがんサロンを開いてほしい
- ✓ 交流会でおしゃべりな方の長い話にちょっと疲れました

考 察

- ✓ がんサロンの評価は良好(ニーズは高い)
- ✓ 患者本人の参加が多い
- ✓ 久留米市在住の方は約半数で他地区からの参加もある
- ✓ サロンを知った経緯は、市報やマスコミからが多い
- ✓ 病気について医師と話を希望する人多い
- ✓ 正しい治療(情報)を得ることが困難と感じる人が多い
- ✓ 医療費・生活費について悩んでいる人が多い
- ✓ プライバシーには特に配慮をする必要がある

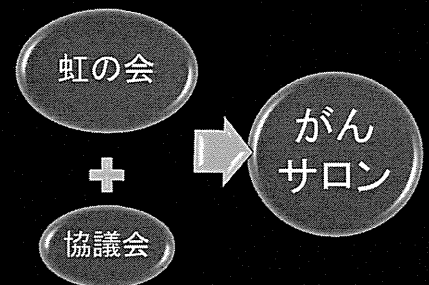
結 果

- ✓ 患者・家族の不安等が軽減され、安心感につながったという事実から、がんサロンのニーズがあることがわかった
- ✓ 参加者同士が、助けたり助けられたりする、ピアサポート効果があることがわかった
- ✓ がん対策推進基本計画でがん相談支援センター(がん専門相談員)に求められている患者支援の(一部が)実現ができた

今後の課題①

- ✓ 患者さんやご家族の意見を医療の質向上や社会システムに反映させたい
→保健・医療・福祉・行政機関との連携

- ✓ がんサロンの運営主体の移行
(協議会→患者会主体へ)



- ✓ 各拠点病院地域でのがんサロンの立ち上げ

第1回 がんサロンちっこ 大牟田サテライト開催 実績

日時:2012年1月28日(土)
 場所:大牟田市保健所(無料)
 参加者:13名(患者11名+家族2名)

大牟田サテライト開催
がんサロンちっこ
 ~ひとりで悩まないで~

参加者の声
 ・ 意見を述べて参加したら気持ち良くなりました。
 ・ 知りたかった事も患者同士、本気で話ができ良かった。
 ・ 元気になりました。

開催日時:平成24年1月28日(土)14時~16時(受付13:45~)
 がん患者さんや家族ならどなたでも参加いただけます

ミニ講演のあと
 患者家族の交流会
 を行います

「切らずに治す放射線治療(仮)」
 -放射線治療科 辻千代子 医師-

場所 大牟田市保健所(地図★)
 大牟田市不知火町1丁目5-1【TEL:0944-41-2669】
 お車でお願いします(大牟田市役所駐車場をご利用ください)
 大牟田駅前・西鉄大牟田駅下車(徒歩3分)

予約不要
 参加費無料

主 催: 医療ブロックがん相談支援センター(連絡協議会)
 (大牟田市の関係: 大牟田大学病院・公立大牟田総合病院・聖マリア病院)
 後 援: 大牟田市・フエルニス株式会社(大牟田支店) 大牟田市・北川町
 医療者支援センター(大牟田) 大牟田市
 専 務 員: 大牟田大学病院がん相談支援センター 【TEL:0942-31-7003】
 (西宮) 高田・石橋 【FAX:0942-31-7715】

アンケートより:

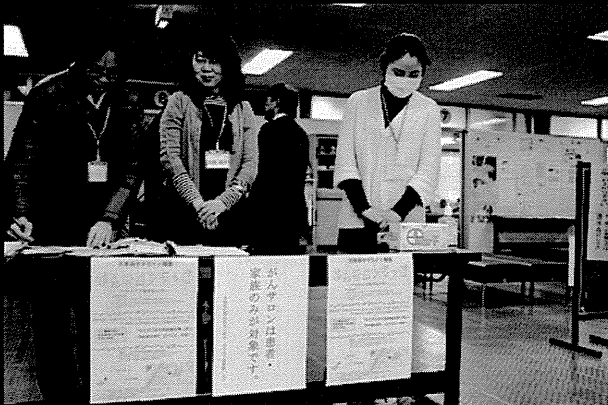
住まい 大牟田市 8人 市外5人
 参加回数 初参加 9人 2回目以上4人
 評価 大変良い 6人 良い 7人
 よくなかった0人

次回参加の希望

参加したい 11人 したくない 0人
 わからない 2人

サロンを知った経緯 市報やマスコミ 5人 ポスター 2名
 医療者紹介 2人 友人の紹介 1 他3名

第1回 がんサロンちっこ 大牟田サテライト開催



今後の課題②

①活動の継続

協議会や患者会の存続や支援体制

②活動場所の確保

アクセスの良さ 活動スペース

会場費(18400円/1回) → 12回(22万800円)

※平成25年3月までは無料で借りる交渉済

③活動費用

事務経費(コピー・通信費など)

人件費(交通費など)

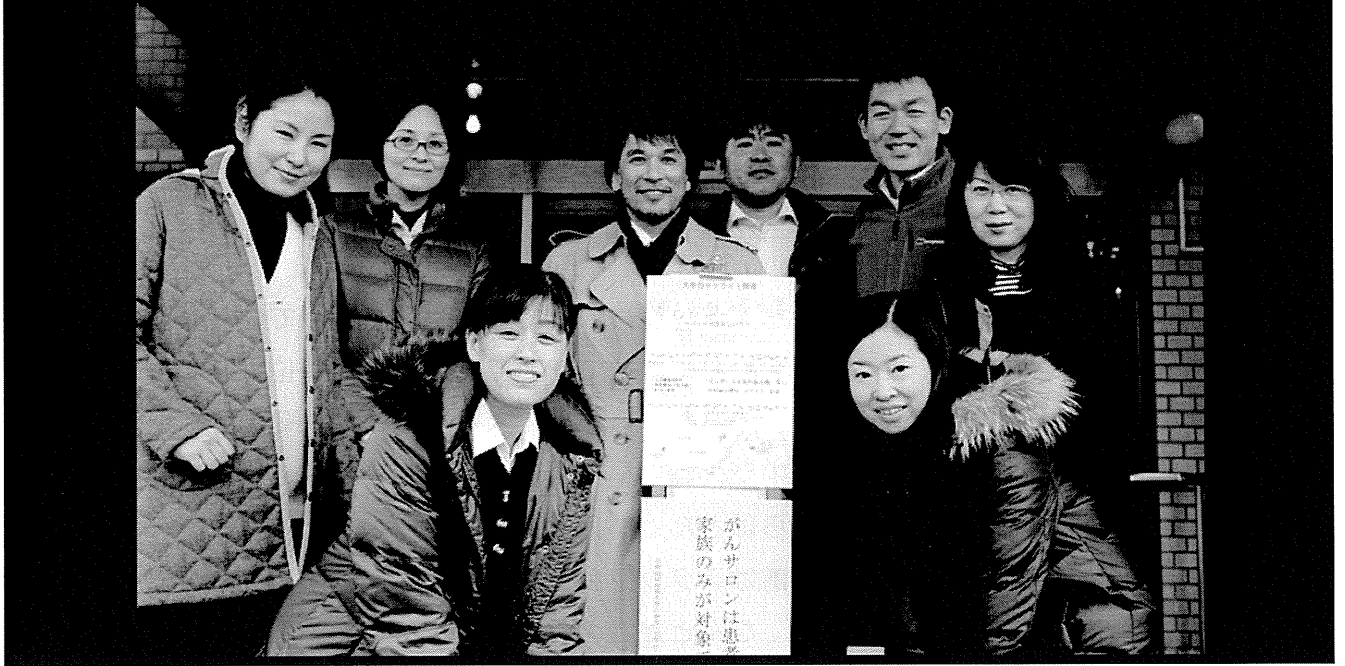


平成23年度「がんサロンちっこ」会計(13回開催)

注意:「0円」は実はゼロではない。意外と高額経費である。

収入		支出	
前年繰越金	43585円	事務用品	0円
病院拠出金	40000円	印刷費	0円
執筆料	9000円	会場費	0円
寄付金	α 円	燃料(灯油)費	1725円
		講師交通費	6500円
		お茶代	7868円
		雑費	0円
		広告活動費	0円
合計	$92585円 + \alpha$	合計	16093円

本日はありがとうございました。
「がんサロンちっこ」の活動が
患者さん・ご家族の生活や
がん医療の質向上に寄与できれば幸いです。



北嶋先生の発表後の Q&A

Q1.

複数の拠点病院が合同で拠点病院の外にサロンをつくるというのは、とてもすばらしい取り組みだと思って拝聴させていただきました。

確認させていただきたいのは、ミニ講演会の後の患者さんの交流会の場で、グループミーティングのような写真がありました。その際に、ファシリテーションは拠点病院の相談支援センターの方がやっているのか、あるいは患者さんがやっているのか、その点について教えてください。

A1.

現在はグループワークの時に、私たちスタッフは入っていません。入っていない理由は、患者会の方が入るので入ってくれるなどと言われたためです。1 回目、2 回目位は、私たちがグループの中に入らないと話がやはり盛り上がりませんでしたので入りましたが、その後、患者会の方とかリピーターの方々に、グループの中に入れていただき、より話しやすいような雰囲気をつくってもらおうをお願いしたら、それからどんどん入っていかれました。

現在、スタッフは入っていないし、以前はスタッフ全員サロンの時には集まっていましたが、今は各拠点病院から 1 人ずつ集まれば、なんとかこのサロン運営はできるよねということになりました。そういう意味で今は入っていないし、患者会の方にできるだけお願いするように、ちょっと言葉は悪いですけど仕掛けていくというのが状況です。

Q2.

運営面について、質問です。私たちも、院内でがん患者サロンを開催していて、3 年が経過しようとしています。そこで、先生のところと同じような形でサポートグループからセルフヘルプグループへの移行を今仕掛けていくところですか。

そこで、ギアチェンジの時期についてお聞きしたい。

たとえば、先生のところの場合、主体となる患者さんのリーダー格の方がいらっしゃるのか、医療者側から仕掛けるような形でもっていつているのか、患者さんのほうから、自発的にそういうふうな形でサポートをしていつているのかという点をちょっとお聞かせ願いたいです。

A2.

こちらから仕掛けています。

リピーターの方で、この方はしっかりしているなどという方に、最初は私たちだけで行なっていた運営会議に入っていてご意見をいただきながらですが、まず、こちらから、この人どうかなという人に声をかけて仕掛けました。

現在は、参加者の方が、お互いに声をかけていく形で、7~8 人ぐらいいらっしゃいます。その患者会も増えているような状況です。

Q2-2

その場合、仕掛けられ、指名された方というのは、たとえば、心理的に負担になっていないかとか、そういった面はどうでしょうか。

A2-2

その辺も気を遣ってはいますが、コミュニケーションをよくとっているので、本人は楽しみながらやっているようにみえます。

それと、現在、がん患者サロン同士の交流など積極的に行われています。いろいろなところに行って、見て、学んでいただいて、報告してもらおうというようにしてもらっています。

今のところは充実してされているのかなと思います。

一応こういった患者会を立ち上げたらどうかという提案をした時には、サロンの参加者すべての方に、ご興味のある方とかやりたいという方はぜひ来てくださいという声かけは、必ずしました。もちろん、最初からその人に声をかけたわけではなくて、できるだけ多くの参加者の方に、3カ月か4カ月位ぜひ運営会議に入ってほしいということで幅広く呼びかけた経緯があります。

Q3.

私たちも交流会、サロンを開いていますが、特殊でして、大切なお子さんを小児がんで亡くされた親の会です。ですが、いろいろな交流やイベントをしていくに従い、患者さんのほうの動きもあり、お医者さんのほうからこのような形で患者さんを受け入れてくださらないかというようなお話もあるなかで、小児がんを経験して大人になられた、たとえば18歳から30歳位の年齢の方はどうされていらっしゃるでしょうか。

A3.

この1年10カ月の実績の中では小児がんの方は残念ながらいらっしゃいません。お若い方では20代後半から婦人科系のがんの方はいらっしゃいました。ただ、私たちのサロンでは、がん種については、アンケートの項目には入れていません。

幅広いそのサロンということを考えると、小児がんの方とかも含めたいろんな企画とか運営というのを考えていかないといけないなと思いますが、現在のところは過去の実績からも参加された方はいらっしゃいません。

厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業
「地域におけるがん患者等社会的支援の
効果的な実施に関する研究」
がんサロンに関する会議

2012年8月25日

地域におけるがん患者や家族の交流の場

～患者（家族）サロンの工夫と課題を共に学ぶ

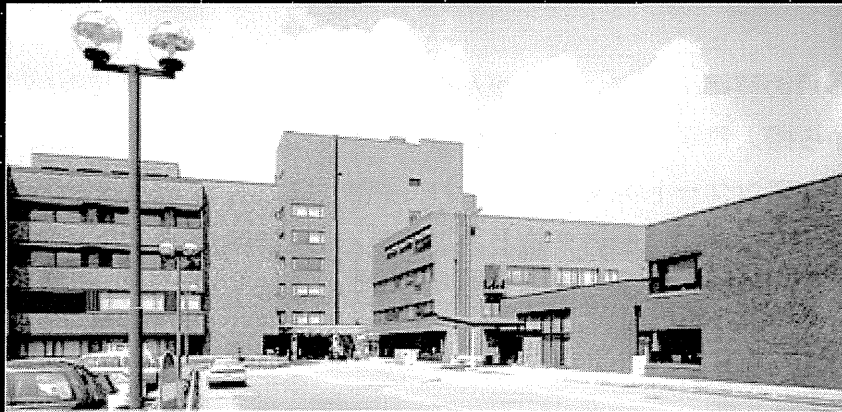
ピア・サポーターズサロン ちば

千葉県がんセンター

患者相談支援室

野田 真由美

千葉県がんセンター



- 昭和47年 開所
- 病床数 341床
(うち緩和病床 25床)
- 職員数 513名
医師 82名
歯科医師 1名
看護師 314名
- 都道府県がん診療連携拠点病院

院内患者サロン

- ご意見箱への患者サロン開設の要望
- 患者有志の世話人グループと患者相談支援室が中心となって2009年7月開設
- 相談室在籍の2名のピアカウンセラーが患者会サロン運営経験を生かして企画や進行などに協力
- 徐々に運営、進行すべて世話人グループに移行し、相談室はバックアップ役へ

院内患者サロン

- 分かち合い
- ミニ勉強会
- 寄席（患者さんの落語）
- 音楽療法士とのコラボ企画
- 親睦旅行 等

利用者数	のべ955人
平均	26.5人/回

2012年6月末現在（全36回）